

CLIPPEDIMAGE= JP406110913A

PAT-NO: JP406110913A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06110913 A

TITLE: SEAT CONFIRMING DEVICE

PUBN-DATE: April 22, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

WATANABE, HITOSHI

INT-CL (IPC): G06F015/24

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily search a seat by reading an identification code imparted to a ticket, retrieving stored seat position data, calling a seat position corresponding to the read identification code, and outputting it so as to be readably confirmed.

CONSTITUTION: When an audience reads a bar code 9a imparted to the ticket 9 by using a bar code scanner 15, a CPU 11 as a seat position calling control means retrieves the seat position data stored in an RAM 13 from the read bar code 9a based on a program, and calls the seat position. Then, the CPU 11 output-displays the seat position on the screen of a display 15 through a display driving circuit 16D. Also, when the audience depresses a prescribed switch 18a on a keyboard 18, a printer 17 is driven, and the seat position is print-outputted on a sheet. Thus, the audience can easily confirm the position in a place of the seat designated by the ticket 9.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-110913

(43)公開日 平成6年(1994)4月22日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/24

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

7052-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-258112

(22)出願日 平成4年(1992)9月28日

(71)出願人 000003562

東京電気株式会社

東京都目黒区中目黒2丁目6番13号

(72)発明者 渡辺 仁

静岡県三島市南町6番78号 東京電気株式

会社三島工場内

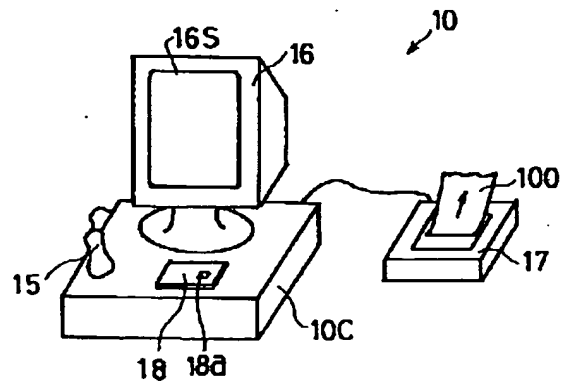
(74)代理人 弁理士 長島 悦夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 座席確認装置

(57)【要約】

【目的】座席探しの容易化。

【構成】チケット識別符号と座席位置と対応させた座席位置データを記憶するデータ記憶手段(13)と、チケットに付された識別符号を読取る符号読取手段(15)と、読取られた識別符号から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す座席位置呼出制御手段(11、12)と、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する出力手段(16、17)と、を備えた構成である。



11 CPU (座席位置呼出制御手段)

12 ROM (座席位置呼出制御手段)

13 RAM (データ記憶手段)

15 バーコードスキャナ (符号読取手段)

16 ディスプレイ装置 (出力手段)

17 プリンタ (出力手段)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 チケット識別符号と座席位置と対応させた座席位置データを記憶するデータ記憶手段と、チケットに付された識別符号を読取る符号読取手段と、読取られた識別符号から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す座席位置呼出制御手段と、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する出力手段と、を備えてなる座席確認装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、劇場やスタジアム等の会場で使用するのに好適な座席確認装置に関する。

【0002】

【従来の技術】最近、劇場やスタジアム等の会場で大勢（例えば1万人単位）の人間を集めて公演や試合等が行われることが多くなってきている。かかる会場では場内の混乱等を避けるために、観客は指定された座席に腰を掛けて試合等を観戦するのが一般的である。なお、通常、指定座席番号はチケットに記載される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記会場に入場する観客は、まず自分のチケットに記載された座席番号と合致する番号を有する座席を探すことになるが、混雑する会場内での座席探しは手間取ることが多い。特に、初めての会場に入る場合や開始後観客席側の照明が落とされて暗くなっている場合などには、一段と座席探しに手間が掛かることになる。

【0004】かかる不都合が生じるのを回避する一方策として、会場内に観客を座席に誘導する係員を多数配置することが考えられるが、人員確保が困難で主催者側に過大な負担を掛けることになる。

【0005】本発明の目的は、座席探しの容易化を図ることができる座席確認装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る座席確認装置は、チケット識別符号と座席位置と対応させた座席位置データを記憶するデータ記憶手段と、チケットに付された識別符号を読取る符号読取手段と、読取られた識別符号から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す座席位置呼出制御手段と、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する出力手段と、を備えてなる。

【0007】

【作用】上記構成による本発明では、符号読取手段によってチケットに付された識別符号が読取られると、座席位置呼出制御手段は、データ記憶手段に記憶された座席位置データを検索して読取られた識別符号に対応した座席位置を呼出す。そして、出力手段は、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する。

【0008】これにより、観客は、チケットで指定された座席の会場内位置を容易に確認することができ、その

結果、座席探しの容易化が図られる。

【0009】

【実施例】本発明の一実施例を図面を参照して説明する。本実施例に係る座席確認装置は、スタジアムの観客入場口付近に設置されており、チケットに付された識別符号（バーコードスキャナ）と対応する座席の会場内位置を目読確認可能に出力するものである。具体的には、本座席確認装置は、図1および図2に示す如く、制御装置10、データ記憶手段13、符号読取手段15、座席位置呼出制御手段11、12および出力手段16、17を含み構成されている。

【0010】ここで、制御装置10は、本座席確認装置全体を駆動制御するもので、図2に示す如く、演算、比較、実行等を司るCPU11と、図3のプログラムを含む各種プログラムや固定データを格納したROM12と、各種データを一時記憶するRAM13と、キーボード18と、入出力ポート（I/O）14等々を含み構成されている。

【0011】また、データ記憶手段は、チケット9に付された識別符号（本実施例ではバーコード9a）と会場（スタジアム）内の座席位置とを対応させた座席位置データを記憶する手段である。本実施例では、データ記憶手段は、制御装置10のRAM13より形成されている。

【0012】また、符号読取手段は、チケット9に付された識別符号（バーコード9a）を読取る手段である。本実施例では、符号読取手段は、バーコードスキャナ15から形成されている。このバーコードスキャナ15は、駆動回路15Dを介して制御装置10の入出力ポート14に接続されている。

【0013】また、座席位置呼出制御手段は、読取りされた識別符号（バーコード9a）から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す手段である。本実施例においては、座席位置呼出制御手段は、制御装置10のCPU11とROM12とから形成されている。

【0014】また、出力手段は、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する手段である。本実施例においては、出力手段は、座席位置を目読確認可能に画面16Sに出力（表示）するディスプレイ装置16と、印字選択指令に基づき座席位置を目読確認可能に用紙100上に印字出力するプリンタ17とから形成されている。ここで、印字選択指令は、キーボード18上の特定スイッチ18aを押下することによりなされる。また、ディスプレイ装置16は、表示駆動回路16Dを介して制御装置10の入出力ポート14に接続されている。また、プリンタ17は、印字駆動回路17Dを介して入出力ポート14に接続されている。

【0015】次に、本実施例の作用を、図3に示すフローチャートを参照して説明する。観客が、バーコードスキャナ15を用いてチケット9に付されたバーコード9

3

aの読取り動作を行うと、座席位置呼出制御手段としてのCPU11は、プログラムに基づき、読取られたバーコード9aからRAM13に記憶された座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す(ステップST10のYES判断、11)。そして、CPU11は、当該座席位置を表示駆動回路16Dを介してディスプレイ装置16の画面16Sに図4に示す如く出力表示させる(ST12)。なお、観客がキーボード18上の特定スイッチ18aを押すと、プリンタ17が駆動されて当該座席位置が用紙100上にも印字(プリント)出力される(ST13のYES判断、14)。

【0016】これにより、観客は、チケット9で指定された座席の会場内位置を容易に確認することができ、迷うことなく当該座席を探し出すことができる。

【0017】しかし、この実施例によれば、チケット識別符号(バーコード9a)と座席位置と対応させた座席位置データを記憶するデータ記憶手段(RAM13)と、チケット9に付された識別符号(9a)を読取る符号読取手段(バーコードスキャナ15)と、読取られた識別符号(9a)から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す座席位置呼出制御手段(CPU11、ROM12)と、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する出力手段(ディスプレイ装置16、プリンタ17)とを備えた構成としたので、観客は、チケット9で指定された座席の会場内位置を容易に確認することができ、その結果、座席探しの容易化が図られる。

【0018】また、出力手段として、ディスプレイ装置16の他に座席位置を用紙100上に目読確認可能に印字可能なプリンタ17を備えた構成としたので、当該用紙100を照合しつつ指定座席を探すことができ、一段と座席探しの容易化を図ることができる。

【0019】なお、上記実施例においては、出力手段と

4

して、ディスプレイ装置16およびプリンタ17を備えた構成としたが、いずれか一方のみを備えるよう構成してもよい。

【0020】また、本座席確認装置をスタジアムに設置したが、設置場所はこれに限定されるものではなく各種会場に設置して使用することができる。

【0021】

【発明の効果】本発明によれば、チケット識別符号と座席位置と対応させた座席位置データを記憶するデータ記憶手段と、チケットに付された識別符号を読取る符号読取手段と、読取られた識別符号から座席位置データを検索して当該座席位置を呼出す座席位置呼出制御手段と、呼出された座席位置を目読確認可能に出力する出力手段とを備えた構成としたので、観客は、チケットで指定された座席の会場内位置を容易に確認することができ、座席探しの容易化が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の全体構成を示す斜視図である。

【図2】一実施例の電氣的・電子的構成を説明するためのブロック図である。

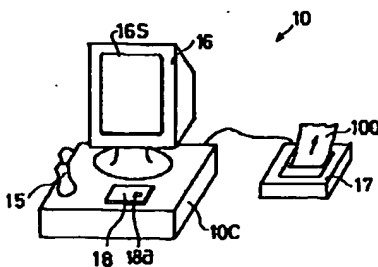
【図3】一実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

【図4】一実施例における座席位置の出力を示す図である。

【符号の説明】

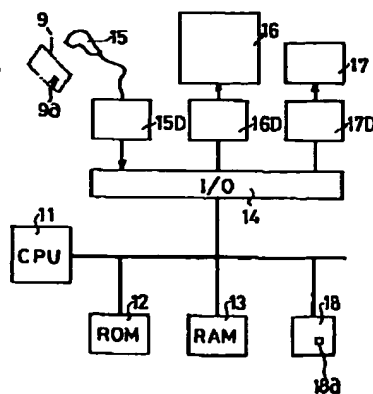
- 11 CPU(座席位置呼出制御手段)
- 12 ROM(座席位置呼出制御手段)
- 13 RAM(データ記憶手段)
- 15 バーコードスキャナ(符号読取手段)
- 16 ディスプレイ装置(出力手段)
- 17 プリンタ(出力手段)

【図1】

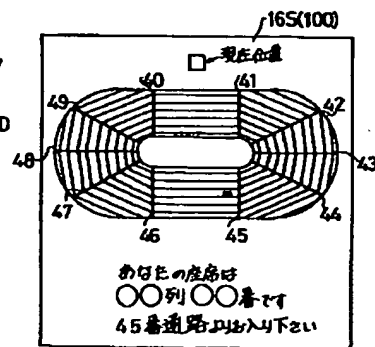


- 11 CPU(座席位置呼出制御手段)
- 12 ROM(座席位置呼出制御手段)
- 13 RAM(データ記憶手段)
- 15 バーコードスキャナ(符号読取手段)
- 16 ディスプレイ装置(出力手段)
- 17 プリンタ(出力手段)

【図2】



【図4】



【図3】

